THE YOUNG MEN'S CHRISTIAN ASSOCIATION NEWS

YMCA 大阪青年

2005 Sep. 9
No. 576

月刊 TheYMCA 付録
編集・発行 / 日本 YMCA 同盟 東京都新宿区本塩町７番地
大阪青年　発行：錦織一郎　編集：大阪 YMCA 広報室
〒 550-0001　大阪市西区土佐堀 1-5-6
TEL06-6441-0894 FAX06-6445-0297
URL:http://www.osakaymca.or.jp/
（年 10 回発行）1947 年10月27日　第３種郵便物認可

２００５年度大阪ＹＭＣＡ年間聖句
「励ましあいなさい。思いを一つにしなさい。平和を保ちなさい。」（Ⅱコリント１３章１１節）

大阪ＹＭＣＡの使命

大阪ＹＭＣＡは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、ＹＭＣＡの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。
- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

未来を築く力強い子どもたちを
家庭、地域社会と共に育てます

Raising strong children and building a loving Community.

地域とともに

高槻ＹＭＣＡ所長　「十°@²

ＹＭＣＡの働きの原点は、地域の中にあるといわれます。では、地域社会って一体何でしょうか。単純に辞書で引くと、「一定の地域に成立する生活共同体」と記されています。多くの人が共に暮らす世界の中で、神様の平和が満たされた社会を築くことがＹＭＣＡに与えられた地域活動の原点です。

「未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てる」ことを使命とするＹＭＣＡでは、特に子どもたちを取り巻く課題に挑戦することが求められています。複雑化し、多様化する社会の中で、今の子どもたちに必要なこと（表1）を考えると、ＹＭＣＡが大切にしてきた働きを再確認することができます。それは、多くのボランティアと共に活動を続けていること、特に、学生ボランティアが子どもたちの成長と共に存在することではないでしょうか。

子どもたちの体力の低下が問題とされています。介護予防の視点からも幼少年期にしっかりとした運動をすることが大切です。

しかし、最近は子どもたちだけで遊べる自由な時間や空間が減少しています。また安全管理上、保護者が付き添わなくてはいけない場面が多く見受けられます。では、諸事情のため役割を担えない家庭の子どもたちは、どうすれば良いのでしょうか。

川や海で自由に泳ぐことができない、近隣の空き地でも自由に遊べない時代にあって、子どもたちを地域で育むために、ＹＭＣＡでは青少年育成基金を活用して、誰もがプログラムに参加できる状況を生み出しています。

そして、ＹＭＣＡが行うすべてのプログラムにはボランティアのリーダーが存在します。ＹＭＣＡの活動を通して育まれた人材が、地域のリーダーとなり、地域の課題に向き合うことが、ＹＭＣＡの大切な働きです。

表1　今の子どもたちに不足している体験

原体験の不足 **（バーチャルからリアルへ）** テレビの画像やゲームでは、視覚や聴覚による刺激を受ける事があっても「触れる・嗅ぐ・味わう」事はできません。直接的な感覚を伴う「あそび（原体験）」が必要です。	**対人関係の希薄化** **（１人あそびから群れあそびへ）** 他者と関わることから意見の違いや摩擦が生まれます。摩擦が起きるから、問題を解決しようと努力します。仲間がいるから自分の存在と価値に気づきます。
多年齢とのふれあい **（ガキ大将～こどもの中の社会～）** 地域からガキ大将を中心とした子どもたちのグループが無くなってしまいました。グループで多くの事を学び、異なる人と協働する力を獲得する機会が今必要です。	**多世代とのふれあい** **（親でもない、先生でもない大人）** 子どもたちが日常生活でふれあう親や学校の先生以外に気軽に話せる大人の存在が必要です。年令の近い学生ボランティアリーダーは、憧れの大人です。

地の塩

▼私たちは、水によって生かされている。身体も主に水により形作られている。水は０度で氷になり、１００度で沸騰する。今の日本では、水は、比較的容易に手に入り、湯にすることも、氷にすることも簡単にできる。地球には、水の成分である水素、酸素がそれ自体で存在し、又水としても存在しながらバランスをとっている。不思議といえば不思議である▼ＹＭＣＡの仕事もいろいろ水に関わっている。夏のキャンプで顔を水につけられた、浮いた、泳げたという子どもたち。水を恐れず、浮かぶことができ、泳げるようになれることは、一生の宝である。リーダーと共に沢歩きをし、足を踏み入れたところが、予想以上に冷たくそして深いことに、自然の奥行きを感じた子どももいたかもしれない。キャンプの夕食時に自分で火をおこして湯を沸かすことを覚える。これもまた、一生の宝となる。やがて冬がくる。スキーやスケートのプログラムが始まる。子どもたちは氷点下の水に学ぶ。子どもたちは遊びながら、バランスよく滑る技をすぐに習得していく。ＹＭＣＡの大きな働きの場がある▼さて、聖書では、水はどのように説かれているか。まず創世記にノアの洪水の話がある。ヨハネによる福音書にはイエスが弟子たちの足を水で洗われた話が出ている。イエスもヨルダン川において洗者のヨハネから、水による洗礼を受けられた▼今もキリスト教会では、水によって洗礼を授けている。水が本当に大切なものとされている。神は、この地球を水の惑星として造られ、多くの生き物を養い、育まれる。そして、人生の大きな節目とされているキリスト教会での洗礼が水を基本としていることを心に留めたい。（一）